

平成25年度  
事業報告書

平成26年5月29日  
学校法人 大阪歯科大学

## 成 2 5 年度事業報告書

### はじめに

学校法人大阪歯科大学は、教育基本法及び学校教育法に則り、歯科医学に関する学術及び応用を教授し、併せて人格を陶冶し国家社会のために有用な人材の養成を目的としている。

本法人は、この目的を達成するため、大阪歯科大学歯学部、大阪歯科大学大学院歯学研究科、大阪歯科大学歯科技工士専門学校、大阪歯科大学歯科衛生士専門学校を設置し、日夜、教育・研究・診療活動に邁進してきた。

平成 2 5 年度事業計画としては、

#### I. 教学（学部教育）の改革

- ・入試倍率
- ・第 1 学年～第 6 学年の改革（新カリキュラム 2 年目の改革）
- ・新しい評価・試験の導入（出席管理、合否基準の改正等）

#### II. 大学院力の量・質的増強

#### III. 教員人材育成力の改革

#### IV. 附属病院の改革

#### V. 歯科技工士・歯科衛生士専門学校の改革

を掲げ、建学の精神である「博愛」と「公益」を基調にし、各種事業計画を着実に実行した。

平成 2 5 年度は、「創立 1 0 0 周年記念館」が完成し、いよいよ第 5、6 学年の新たな天満橋学舎の教育拠点として、その使用が始まった。このことにより附属病院での臨床教育が一層充実し、歯科医師国家試験合格率のアップに繋がった。また、とりわけ本年は、国際学术交流の活発な年回りであり、特にコロンビア大学との連携が成功裡に展開したことである。同大学歯学部長ストラー教授の特別講演を皮切りに、CEプログラムでは内外から多くの参加者があり研修の実りを上げた。さらに海外協定校の学生受入れであるが、3 校（南方医科大学口腔医学院、台北医学大学口腔医学院、シドニー大学歯学部）の学生が本学を訪問した。

一方、附属病院の財務改善については、本法人理事会のもと、「附属病院経営改善委員会」が始動し、その第一弾として土曜開院を実施することが決まり、平成 2 5 年 5 月から開院となった。

このように教育・研究・診療活動の展開により、さらなる 1 0 0 年に向けての基盤が着実にできあがりつつあり、「グローバル大学」としての本学を構築していくために全教職員の力（りょく）を尽くしていく次第である。

## 本学の沿革

明治44年（1911）12月に大阪歯科医学校が設立認可された。

明治45年（1912）1月に大阪歯科医学校が開校した。（1月14日・創立記念日）

大正6年（1917）9月に大阪歯科医学専門学校が設立認可された。

昭和22年（1947）6月に大学令による旧制大阪歯科大学が設立認可された。

（6月18日・昇格記念日）

昭和27年（1952）2月に学校教育法による新制大阪歯科大学が設立認可された。

昭和36年（1961）4月に大学院歯学研究科博士課程が設置された。

昭和39年（1964）4月に大阪歯科大学歯科技工士専門学校が設置された。

昭和43年（1968）5月に大阪歯科大学歯科衛生士専門学校が設置された。

法人組織としては、大正6年9月に財団法人大阪歯科医学専門学校を設立した。昭和22年2月に財団法人大阪歯科大学、昭和26年（1951）3月に私立学校法による組織変更により学校法人大阪歯科大学となった。

平成9年（1997）4月楠葉学舎へ大学機能の移転を完了、天満橋学舎に新附属病院本館を建設し、牧野学舎と合わせ3キャンパスを持つ歯科医学総合学園として新体制をスタートさせた。

平成23年（2011）11月11日、国内・海外から多数の来賓を迎え盛大に創立100周年記念式典を挙行了した。

創立100周年記念出版物としては、次の4点を刊行した。

『大阪歯科大学のあゆみ・博愛と公益を目指して』（平成23年10月）

『大阪歯科大学創立100周年記念の葉（しおり）』（平成24年10月）

『大阪歯科大学100年史』（平成24年12月）

『大阪歯科大学大学院50年史』（平成24年12月）

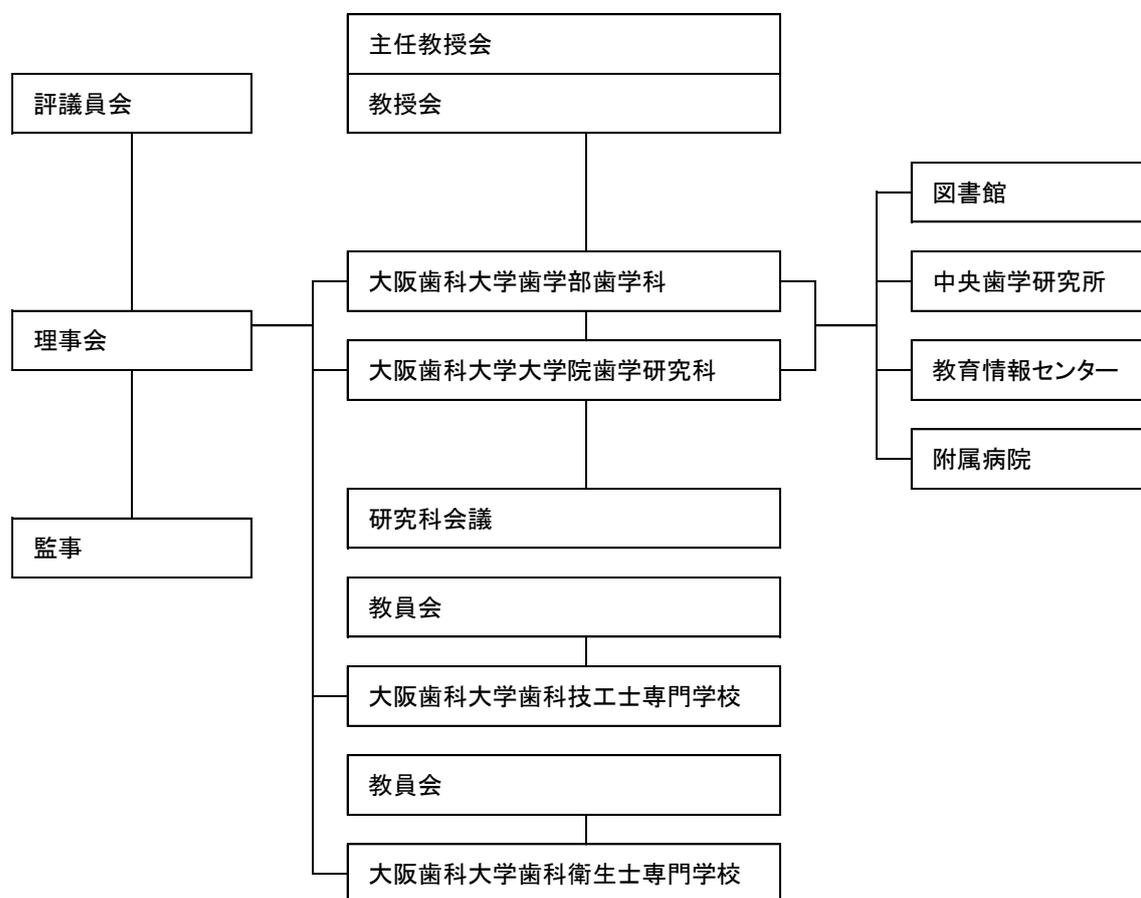
平成24年（2012）4月 創立100周年記念館起工式を挙行

平成25年（2013）3月 創立100周年記念館竣工

平成25年（2013）5月 附属病院（矯正歯科・小児歯科）において土曜診療開始  
同年10月11日、コロンビア大学歯学部長のクリスチャン・ストラ教授が記念講演を行った。

同年10月12日～13日 コロンビアCEプログラム・第3回ニューヨーク最新歯科治療ーインプラント・審美歯科・歯周外科ー研修会が行われた。

## 組織



## 平成25年度事業報告

平成25年度の取り組み内容について各項目ごとに、その概要を記載する。

- I. 教学（学部教育）の改革
- II. 大学院力の量・質的増強
- III. 教員人材育成力の改革
- IV. 附属病院の改革
- V. 歯科技工士・歯科衛生士専門学校の改革

### I. 教学（学部教育）の改革

#### 1. 歯学部入試倍率増加への取り組み

新入生確保のためオープンキャンパスは、平成25年度は5月、6月、7月

8月、11月の計5回開催され、延べ参加人数は310名であり過去最多の参加であった。実施したプログラムは、入試概要説明、在学生による学生生活の紹介、実習体験などであり、毎回参加者の満足度は高かった。

また、入試広報の充実を図り、本学教員による高校訪問、大学祭期間中に受験生に対する入試説明会や高校生向け進学ガイダンス「夢ナビライブ」での出前講義など本学の魅力を打ち出した企画を行った。

さらに、関連としてFMひらかたの番組である「街角Bird View」に本学学生（第4学年4名）が出演し、キャンパスライフ、本学の行っている諸行事について紹介した。

入学者選抜方法は、推薦入学試験（公募制・指定校制）、一般入学試験（前期・後期）であり、学力試験のほかに受験生全員に小論文と面接を課し、きめ細かい選抜体制で臨んでいる。また、平成25年度から入学検定料を4万円から2万円に引き下げ、受験生の経済的負担の軽減を図った。

以上の取り組みの結果、平成25年度実施の入学試験では、募集人員128名に対する入学者数は128名であり過不足無く順調に確保した。平成23年度から開始した編入学制度については、徐々に志願者が増加し、平成25年度は第2学年に10名が編入となった。

平成27年度から大学入試センター試験の導入を決定し、優れた受験生のさらなる確保に努めるものである。

## 2. 第107回歯科医師国家試験結果

新卒者は94名受験し、合格者は71名で合格率75.5%であった。（新卒者の私立歯科大学・歯学部の合格率は68.5%）既卒者を含めると158名が受験し、合格者は100名であり合格率は63.3%であった。（既卒者を含めた私立歯科大学・歯学部の合格率は58.6%）

全国では、3,200名が受験し、2,025名が合格（全体平均合格率は63.3%）であった。国公私の新卒合格者は、1,642人で合格率は73.3%で、本学は2.2ポイント上回った。

第6学年の学力アップに向けては、教育アドバイザー、特別アドバイザー、ティーチング・アシスタント（TA）による徹底した個人指導や早朝テスト、本学指定の模擬試験受験などの取り組みを行った成果が現われたと考える。今後もこのような地道な取り組みを推進していくものである。

## 3. 進行するカリキュラム改革

平成23年度に教育課程の編成・実施方針（カリキュラムポリシー）を制定し、建学の精神である「博愛・公益」、学生中心主義に基づいて、患者さんへの

思いやりと温かな心をもった歯科医師の育成を目指した取り組みを行った。

第1、2学年は新カリキュラム（カリキュラム2012）、第3学年以上はカリキュラム2000により授業を行った。

### ○低学年次学力

第1学年の初年次教育については、英語、数学、物理学、化学、生物学について基礎学力試験を全員に課し、学力向上を図るリメディアル教育を実施した。

またアーリーエクスポージャーとして、早期臨床体験学習及び社会福祉体験学習を行い、歯科医師として心得ておくべき態度の修得を図っている。また、推薦入学者、編入学者には、新年度に備えた入学前教育を行い、スムーズな教育ができるよう配慮した。

第2学年では、第3学年以降の学習にも重要となる基礎系歯科医学科目及び歯科英語を配置しており、歯科医師としての必要な総合的知識、技能、態度を修得させている。

### ○CBT時学力

全国29校ある全ての歯科大学・歯学部が参加している共用試験歯学系CBT、OSCEについては、第4学年末に実施されるが、これは第5学年次の臨床実習と、第6学年に控えている歯科医師国家試験受験の学力を担保する重要な関門である。

そこで本学では、平成25年度から各学年の試験合格基準を改正し、特に第4学年の合格基準を従来の65%以上合格から、70%以上合格とした。歯学系CBT、OSCEの受験できる者は、もちろん第4学年に配当されている必要な全てのユニットの単位修得者であることは言うまでもない。

第4学年当初には、学年指導教授によるガイダンスで合格基準の変更を行った旨の説明を行い、保護者に対しては学長名による合格基準変更の通知を行い理解と協力を要請した。

学生には教務部長、指導教授、教育アドバイザー及び助言教員による個別指導と模擬試験の実施などきめ細かい学習支援体制を敷き、成績の向上に努めた。

### ○第5学年・第6学年の教育

創立100周年記念館の完成に伴い、高学年における天満橋学舎での一貫教育が可能となった。

第5学年における臨床実習の成績評価の厳格化（臨床実習修了時試験）、年間5回にわたる進級試験（75点以上合格）など学生の学力向上とモチベーションを高めるための措置を講じた。

第6学年においては、歯科医師国家試験への対応として、本学指定の模擬試験の導入、教育アドバイザーによる少人数クラスの設置、特別アドバイザー、ティーチング・アシスタント（TA）の配置による徹底した個別指導による学習支援体制を整えた。

### ○科目等履修生制度の創設

本学学則に定められた資格を有する歯科技工士専門学校、歯科衛生士専門学校等の卒業者に門戸を広げるため科目等履修生制度を新設した。（平成26年度から運用開始）

### ○認証評価への取り組み

#### ・大学基準協会認証評価

本学は、平成19年度に大学基準協会において認証評価を受審し、協会の定める「大学基準」に適合しているとの評価を得たところである。今回その評価の1サイクル（概ね7年）目にあたり、平成26年度の認証評価の受審を決定し、平成25年度の重要事項として点検・評価報告書、基礎データの作成を進めてきた。そして、平成26年3月に、教育、研究、社会貢献などの状況を点検・評価した点検・評価報告書、基礎データ等の資料一式を大学基準協会に提出した。

認証評価制度の目的は、大学が自己点検・評価により「質の向上」に取り組み、社会に対してこれを発信することで「質を保証」することである。

今後も本事業報告書で述べてきた教育体制を含め本学のもつ全ての活動の不断の改善と改革を継続していくものである。

#### ・歯学教育認証評価トライアル

本学が、文部科学省・平成24年度「基礎・臨床を両輪とした医学教育改革によるグローバルな医師養成」事業の一つ「医学・歯学教育認証制度等の実施」において、東京医科歯科大学申請の「歯学教育認証制度等の実施に関する調査研究」の連携大学に採択されたことは前年度事業報告で述べた。

平成25年度には、本学は九州歯科大学とともにそのトライアルを受けることとなった。現在は教育内容を中心とした自己点検・評価書の作成を進めているところでありほぼ完成しつつある。

### ○新設された歯科医学教育部門

歯学教育モデル・コア・カリキュラムに対応して、平成25年10月に歯科法医学室（助教1名を配置）、平成26年1月に歯科審美学室（教授1名を配置）

を開設し、学生教育を新たに担うこととなった。

### ○学生生活指導

学生には、小冊子「学生生活ハンドブック」を配付するとともに、在学生の態度規範向上に関して、本学教員が、学生登学時に楠葉学舎正門で挨拶を行う取り組みを行った。また、欠席・遅刻が頻繁になると学業成績の低下につながるという観点から、学年指導教授、助言教員を通じて徹底した個別指導を実施した。

薬物乱用防止講演会については、平成25年6月に大阪府警薬物対策課から講師（小川 浩一警部）を招いて、第1学年を対象に開催され、教職員を含む約140名が出席した。

学生部セミナー（学生部委員会主催・FD委員会共催）を、平成25年12月に「広汎性発達障害の理解に向けて」をテーマに関西福祉大学・櫻井 秀雄教授を講師に招いて開催した。

### ○学習機会の拡大・充実

本学図書館では、学習機会の拡大充実のため、開館時間の延長を継続している。なお、大学ランキング2015年版（週刊朝日進学MOOK）学生一人当たりの図書貸出冊数は13.5冊で、昨年度に引き続き私立歯科大学・歯学部中Aランクに位置している。

## II. 大学院力の量・質的増強

1. 大学院生の入学倍増計画
2. 大学院教員の増強
3. 募集定員の拡大、社会人院生の拡大
4. 外国人院生・受入れの奨励
5. 修士課程（衛生士、技工士）の増設

平成25年度は25名の学生が入学した。新たに口腔インプラント専攻科を設置し、大学院准教授を置き、大学院生の指導を開始した。

入学倍増計画の一環として、歯科基礎系・歯科臨床系専攻の一本化に向けても認可申請に向けて検討を進めた。

修士課程の設置については、大学院修士課程設置準備委員会が設置され、鋭意検討を行っており、平成26年度申請に向けて準備を進めているところである。なお、歯科技工士・歯科衛生士専門学校の卒業生も平成26年4月に大学学部で新設される科目等履修生制度を利用し、学士課程修了と同等の資格を持

つことにより、大学院修士課程へ進むコースを歩むことも可能である。

また大学院カリキュラムポリシー及びディプロマポリシーを新たに制定した。

### Ⅲ. 教員人材育成力の改革等について

#### ○教育人材育成力

本学の教員は、本学の建学の精神である「博愛」と「公益」を順守し、本学の発展に真に寄与する高潔な人格と識見及び私立大学の教員としての自覚を有し、教育、研究、臨床に情熱をもつ者で、高度の教育・研究能力及び業績、専門学会並びに社会的活動などにおける実績を有していなければならない。

任用されての後の教員の資質の向上については、FD委員会が積極的に企画立案を行い、FD研修会を精力的に実施した。研修会では外部講師として、8月期のFDに東京歯科大学教務部長・河田英司教授を招聘した。

また平成21年度から本格実施されている教員評価については、平成25年4月に「大阪歯科大学教員評価実施規程」が施行された。教員評価は教育活動、研究活動、臨床活動及び学内・社会活動の各区分ごとに教員評価委員会によって審査されている。

#### 平成25年度FDセミナー一覧

	開催日時	場所	テーマ	講師	参加人数
第1回	4/18(木) 17:10~	100周年記念館 大講義室	平成25年度歯学系CBT 問題公募要領と問題作成 のポイント	西川泰央 池尾 隆 松本尚之 各本学教授	125名
第2回	5/16(木) 17:10~	100周年記念館 大講義室	我が国における歯学教育 認証評価の動向	中嶋正博 本学教授	129名
第3回	8/29(木) 17:10~	100周年記念館 大講義室	東京歯科大学の15年	河田英司教授 (東京歯科大学 教務部長)	132名
第4回	8/30(金) 8/31(土)	コスモスクエア 国際交流センター	カリキュラムプランニング のためのワークショップ (宿泊型)	河田英司教授 他FD委員	32名
第5回	2/15(土) 9:00~	楠葉学舎	問題作成に関するワーク ショップ	FD委員	41名

## ○国際交流

特に本年は、教員の研究活動の活性化と学生の資質向上に繋がった1年であった。本年10月、アメリカ・コロンビア大学と本学との提携によるコロンビアCEプログラムが大規模に行われ、教員の研究活動が大いに刺激を受けた。

さらに、本学の学生に関しても海外の提携歯科大学との交流により、国際的視野が広がり、歯科医療人としての人格形成に役立った。

本学教員の海外での共同研究あるいは研究発表に関しては、42名に対して助成が行われているが、そのほかに中国5大学との共同研究では、本学への受入として上海交通大学口腔医学院から2名が来学、一方本学からは北京大学口腔医学院へ3名の教員を派遣した。

海外協定校との学生交流については、台北医学大学から学生が9名、南方医科大学から学生8名と教員1名が、シドニー大学から学生7名が本学へ来学し、本学講座・室の講演、附属病院各診療科の見学などの日程で活発に交流を深めた。

また、本学からは、

- ・北京大学口腔医学院 学生5名（第2学年2名、第3学年1名、第4学年2名）引率教員1名（歯科保存学講座）
- ・シドニー大学歯学部 学生6名（第3学年5名、第4学年1名）引率教員1名（化学教室）
- ・コロンビア大学歯学部 学生8名（第5学年）引率教員2名（有歯補綴咬合学講座、英語教室）

学生・教員合わせて23名を派遣した。

## ○コロンビア大学・クリスチャン・ストラー歯学部長特別講演並びにコロンビアCEプログラム第3回ニューヨーク最新歯科治療 - インプラント・審美歯科・歯周外科 - 研修会の開催

平成17年、平成24年に開催した「コロンビア大学インプラントセミナー」に続く研修事業として、Osaka Dental University/Columbia University College of Dental Medicine Continuing Education Program の第3回目が平成25年10月11日から10月14日まで本学創立100周年記念館及び楠葉学舎で開催された。

### 【コロンビア大学・ストラー歯学部長特別講演会】

日時 平成25年10月11日（金）16時から16時45分

場所 創立100周年記念館4階大講義室

参加者 160名

### 【コロンビアCEプログラム第3回ニューヨーク最新歯科治療 ーインプラント・審美歯科・歯周外科ー 研修会】

《One Day Lecture コース》

日時 平成25年10月12日（土）9時30分から16時45分

場所 創立100周年記念館4階大講義室

参加者 205名

《Advanced コース》

日時 平成25年10月13日（日）、14日（月）9時から16時30分

場所 楠葉学舎3号館1階大学院講義室、同2号館4階第8実習室

参加者 40名

### ○臨床ゲノム学会への協賛

平成25年11月23日（土・祝日）、第3回臨床ゲノム医療学会大阪大会（会場・大阪大学）が開催され、この学会に本学が協賛し、多数の本学教員が参加した他、「歯周病の概念：過去、現在、未来」と題して本学の田中昭男教授が講演を行った。

この学会への参加を通じて、今後本学がゲノムに関する研究を推進していく方向性を示したことで、本学の研究力の一層の発展に寄与することが期待されている。

### ○臨床研究に関する利益相反関係規程の制定

本学における教育研究の活性化に伴い、臨床研究に関する利益相反問題に対処するため、平成25年4月に臨床研究利益相反検討委員会規程を制定した。

### ○教育施設整備各種補助金・助成金関係

#### 【平成25年度における私立大学等経常費補助金】

4億110万8千円で、そのうち特別補助は2,826万3千円

特別補助の項目は、次のとおりである。

- ・大学等の国際交流の基盤整備への支援（海外派遣、大学院入試等）
- ・大学院における研究の充実（女性研究者支援）

- ・研究施設運営支援（中央歯学研究所）
- ・学生の経済的支援体制等の充実

**【平成25年度私立大学等研究設備整備費等補助金（私立大学等研究設備等整備費）】**

歯科診療チェアーユニット及びファントム 18台 1662万7千円

**【平成25年度科学研究費補助金（文部科学省）】**

基盤研究（C）	35件
若手研究（B）	16件
研究活動スタート支援	2件
合計53件	6,340万円（間接経費1,902万円）
	総額 8,242万円

**○教育研究等の情報公開**

本学教員の研究業績については、毎年度刊行する『教育研究論文目録』の他、本学のウェブサイトで開催され閲覧できるようになっている。また、大学院博士課程の学位論文についても、学位規則の改正に伴い本学ホームページに公開されている。

**○地域との交流**

**・第21回大阪歯科大学公開講座**

本年度も市民を対象とした公開講座を開催した。

「最新医療を学ぶ」をメインテーマに、創立100周年記念館で平成25年9月7日、14日、楠葉学舎で平成26年2月22日、3月1日に開催し、延べ810名の市民が参加して好評であった。2名の講師のうち1名は、外部講師として菱川 良夫氏（メディポリスがん粒子線治療研究センター長）を迎え行われた。

	日時	会場	テーマ	講師	受講者数
天満橋 講座	9/7 (土)	100周年記念館 大講義室	闘わないがん治療 粒子線治療	メディポリスがん粒子線 治療研究センター長 菱川 良夫氏	209名
	9/14 (土)		自分の細胞から組織が甦る 再生治療	本学口腔インプラント科 馬場 俊輔教授	172名

	日時	会場	テーマ	講師	受講者数
枚方 講座	2/22 (土)	楠葉学舎講堂	闘わないがん治療 粒子線治療	メディポリスがん粒子線 治療研究センター長 菱川 良夫氏	217名
	3/1 (土)		自分の細胞から組織が甦る 再生治療	本学口腔インプラント科 馬場 俊輔教授	212名

#### ・ 歯科用語集の刊行

平成26年3月に『患者さんのための歯科用語集』（本学公開講座委員会編）を刊行し、本学公開講座の受講者へ無料配布することになっている。

#### ・ 学園都市ひらかた推進協議会の事業への参画

##### 1) 子ども大学探検隊

平成25年度は、本学と関西外国語大学が実施校となって行われた。

本学の大学祭期間中の11月3日（日・祝日）枚方市内の小学生34名が本学楠葉学舎を訪問し、本学学生が歯に関する講義や体験実習を担当した。

##### 2) ひらかた市民大学への参加

市民への医療に関する情報提供を目的にした「ひらかた市民大学」に本学が教員を派遣した。なお、平成25年度は、本学の他に5大学（大阪国際大学、関西医科大学、関西外国語大学、大阪工業大学、摂南大学）でも開催された。

開催日時	場所	テーマ	講師	参加人数
11/16 (土)	楠葉学舎 大学院講義室	これで安心 インプラント治療	本学口腔インプラント科 馬場 俊輔教授	45名

#### IV. 附属病院の改革

1. 収支改善による健全経営戦略
2. 先進医療の態勢整備
3. 病院運営貢献者への顕彰・報奨
4. B/C考慮の支出、経費の見直し
5. 各部署の収支改善策を提案・実行

医療収入については、附属病院経営改善委員会がデータ分析を進め、改善への方向性を示し、これを受けた各診療科における努力により、徐々にではあるが増加している。

平成25年度の初診患者数は、2万5,289人、一日平均104.93人で対前年度比3.52%増であった。

また、外来・入院延べ患者数は、26万5486人であり、主な地域別内訳は大阪府23万2254人、兵庫県1万4174人、奈良県9,419人、京都府6,257人、和歌山県1,148人であり、その他滋賀県、三重県、東京都、北海道、沖縄県などである。

平成25年5月11日から始まった土曜開院については、初診・再診合わせた年間延べ患者数は、1,501人を数えている。

#### ○先進医療の推進

先進医療とは、新しい医療技術の出現・患者ニーズの多様化等に対応するために、健康保険の診療で認められている一般の医療の水準を超えた最新の先進技術として、厚生労働大臣から承認された医療行為であるが、当院では、「歯科用CAD・CAMシステムを用いたハイブリットレジンによる歯冠補綴」が平成24年6月1日付で、「有床義歯補綴治療における総合的咬合・咀嚼機能検査」が平成25年1月1日付でそれぞれ厚生労働省の承認を受け、実施している。

#### ○歯科医師の派遣

以前から実施している、社会福祉法人阪神福祉事業団センター診療所、日本放送協会（大阪放送局）への派遣、白浜アドベンチャーワールドの動物歯科検診を行った。また、本学附属病院に隣接する国家公務員共済組合連合会大手前病院への訪問歯科診療が継続実施されている。

#### ○歯科医師臨床研修

修了者は、プログラムS（単独型）32名、プログラムC（複合型）84名の合計116名であった。研修歯科医受入施設は、44施設であった。臨床研

修費等補助金は、前年度に比べ1,316万円増の1億2,172万円であった。

第9回大阪歯科大学附属病院歯科医師臨床研修指導歯科医講習会を平成26年1月に開催、一般参加者を含む27名が受講した。また、指導歯科医の資質向上のための講習会を、管理型及び協力型臨床研修施設の指導歯科医を対象に、平成26年1月、2月に開催した。

### ○病診連携講演会（懇談会）

病診連携、病病連携の推進を目的として開催している病診連携講演会（懇談会）は平成25年度で11回目を数え、平成26年2月に開催された。

なお、平成25年度に医療機関から紹介いただいた患者数は9,153人になっており、紹介率は36.2%となった。

### ○地域医療連携について

従来から大阪府等地域の歯科医院、病院との連携を深めている。また、かねてより本学附属病院と隣接する大手前病院とは、医療連携の推進、情報交換を行っている。

大手前病院と連携して近畿厚生局に届け出た施設基準「感染防止対策加算2」が平成25年4月付で受理され、入院患者について保険の算定を受けている。算定要件に則して大手前病院との院内感染防止に関する所定のカンファレンスを定期的で開催し、院内感染防止の徹底に努めている。

また、平成25年4月から大手前病院地域医療支援病院運営委員会に本学附属病院副病院長が委員として参画し、密接な地域医療連携を行っている。

関西医科大学（天満橋総合クリニック）とは従来から特殊検査により提携を行っている。

### ○医療安全講習会、院内感染対策講習会等

医療安全、院内感染防止等に関する取り組みは、昨年度に引き続き講習会が開催され、多数の教職員が参加した。

「医療安全講習会」

「院内感染対策講習会」

「医薬品安全管理講習会」

「医療機器安全管理講習会」

### ○「医療事故防止のための相互チェック」

国公立大学歯学部附属病院が隔年で実施している。3校でグループを構成し、相互に病院を訪問し、医療安全、院内感染防止等に関しチェックを行い、改善に努める。今回、本学は九州大学病院、岩手医科大学附属病院とグループを組み、平成25年12月から26年1月にかけて相互に訪問し、チェックを行った。

### ○医療機器の更新について

眼科において、レーザー走査型眼底検査装置（1,785万円）、口腔外科（中央手術室）において電気メス Force Triad エネルギープラットフォーム（252万円）、歯科麻酔科においてドレーゲルメディカル麻酔器（299万2,500円）の更新が行われた。

## V. 両専門学校の改革

歯科技工士専門学校は、教育課程を一部改編し、「義歯専攻コース」、「CAD/CAM専攻コース」、「インプラント専攻コース」の3コースを設け（平成24年度）特色ある医療専門職教育を打ち出し、優れた歯科技工士を養成した。

平成26年度に創立50周年となる歴史と伝統を継承すべく、優秀な学生確保の取り組みを進めた。

歯科衛生士専門学校は、3年制の充実したカリキュラムにより確実に歯科衛生士国家試験に合格できるようになっている。また、就職希望者の就職率は、100%を確保しており、高齢社会に対応できる多くの人材を輩出している。

本学歯学部には平成26年4月から、科目等履修生制度が設けられることから歯科技工士・歯科衛生士両専門学校の卒業生が、専門科目を履修し単位認定を受け学士課程修了と同等の学力があると認められれば、現在、大学院で設置認可に向けて検討中の大学院修士課程への進学も可能となる。

[附属資料]

1. 平成 25 年度学生数 ( ) は女子 (平成 25 年 5 月 1 日現在)

大学	第 1 学年	1 4 0 ( 4 6 )	大学院	第 1 学年	2 5 ( 9 )
	第 2 学年	1 4 1 ( 5 4 )		第 2 学年	1 9 ( 1 1 )
	第 3 学年	1 4 5 ( 6 1 )		第 3 学年	3 0 ( 1 3 )
	第 4 学年	1 2 9 ( 6 0 )		第 4 学年	<u>2 4 ( 1 2 )</u>
	第 5 学年	1 1 0 ( 4 4 )			9 8 ( 4 5 )
	第 6 学年	<u>1 6 0 ( 4 9 )</u>			
		8 2 5 ( 3 1 4 )			

歯科技工士専門学校	1 年	1 5 ( 5 )	専攻科 1 年	1 1 ( 1 )
	2 年	<u>1 6 ( 3 )</u>	専攻科 2 年	<u>4</u>
		3 1 ( 8 )		1 5 ( 1 )

歯科衛生士専門学校	1 年	5 1 ( 5 1 )
	2 年	4 9 ( 4 9 )
	3 年	<u>5 4 ( 5 4 )</u>
		1 5 4 ( 1 5 4 )

2. 第 107 回歯科医師国家試験の結果 平成 26 年 3 月 18 日合格発表

	(総 数)			(新 卒)			(既 卒)		
	受験者数	合格者数	合格率(%)	受験者数	合格者数	合格率(%)	受験者数	合格者数	合格率(%)
本学	158	100	63.29	94	71	75.53	64	29	45.31
全国	3,200	2,025	63.28	2,241	1,642	73.27	959	383	39.94

3. 平成 26 年度入学試験状況

		(志願者)	(合格者)	(入学者)
[ 大学 ]	推薦入試	4 1	3 5	} 1 2 8
	一般入試 (前期)	1 9 0	8 5	
	一般入試 (後期)	6 7	9	
	編 入 学 (前期)	7	5	} 8
	編 入 学 (後期)	4	4	
[大学院]	一般入試 (一次)	9	6	} 1 7
	一般入試 (二次)	1 4	1 2	
	一般入試 (三次)	1	1	
	外国人留学生特別選抜	0	0	
[歯科技工士専門学校]	歯科技工士学科	1 0	1 0	1 0
	専攻科	4	4	4
[歯科衛生士専門学校]		6 1	4 9	4 5

4. 平成 24 年度会計実査 平成 25 年 4 月 4 日 (木)
5. 大学・大学院入学式 平成 25 年 4 月 5 日 (金) 午前 10 時 (於：楠葉学舎)
6. 平成 25 年度大学新入生研修  
平成 25 年 4 月 8 日 (月) 午前 9 時 (於：牧野学舎)  
4 月 9 日 (火) 午前 9 時 (於：楠葉学舎)
7. 平成 25 年度 F D
  - ・第 1 回 平成 25 年 4 月 18 日 (木) 午後 5 時 10 分 (於：100 周年記念館)  
「平成 25 年度歯学系 CBT 問題公募要領と問題作成のポイント」125 名出席
  - ・第 2 回 平成 25 年 5 月 16 日 (木) 午後 5 時 10 分  
「我が国における歯学教育認証評価の動向」129 名出席 (於：100 周年記念館)
  - ・第 3 回 平成 25 年 8 月 29 日 (木) 午後 5 時 10 分～午後 6 時 30 分  
「東京歯科大学の 15 年」132 名出席 (於：100 周年記念館)
  - ・第 4 回 平成 25 年 8 月 30 日 (金)、31 日 (土) 32 名出席  
「第 7 回カリキュラムプランニングのためのワークショップ開催について」  
(於：ホテルコスモスクエア国際交流センター)
  - ・第 5 回 平成 26 年 2 月 15 日 (土) 午前 9 時～午後 5 時 (於：楠葉学舎)  
「問題作成に関するワークショップ」 41 名出席
8. 体育総会 平成 25 年 5 月 11 日 (土) 午後 2 時 (於：楠葉学舎)
9. 平成 24 年度監事監査 平成 25 年 5 月 13 日、14 日 (於：楠葉学舎)
10. 解剖体慰霊祭 平成 25 年 5 月 24 日 (金) 午後 2 時 (於：四天王寺)
11. オープンキャンパス (於：楠葉学舎)
  - ・第 1 回 平成 25 年 5 月 26 日 (日) 午前 11 時～午後 4 時 38 名参加
  - ・第 2 回 平成 25 年 6 月 30 日 (日) 午前 11 時～午後 4 時 10 名参加
  - ・第 3 回 平成 25 年 7 月 28 日 (日) 午前 11 時～午後 4 時 120 名参加
  - ・第 4 回 平成 25 年 8 月 25 日 (日) 午前 10 時～午後 4 時 83 名参加
  - ・第 5 回 平成 25 年 11 月 2 日 (土) 午前 10 時～午後 12 時 10 分 59 名参加
12. 平成 25 年度薬物乱用防止講演会  
平成 25 年 6 月 19 日 (火) 午前 9 時 (於：楠葉学舎)  
講師 大阪府警察本部刑事部薬物対策課 小川 浩一 警部  
対象者：第 1 学年、約 140 名出席 (教職員含む)

13. 大学父兄会・共済会総会（於：楠葉学舎）  
平成 25 年 6 月 29 日（土）午後 1 時 父兄出席者数 278 名
14. 第 45 回全日本歯科学学生総合体育大会（当番校：日本大学歯学部）  
平成 25 年 8 月 1 日（木）～12 日（月） 総合第 7 位
15. 第 21 回公開講座
  - ・メインテーマ 「最新医療を学ぶ」
  - ・日程 天満橋講座 平成 25 年 9 月 7 日（土）、14 日（土）  
受講者延べ 381 名（於：100 周年記念館）
  - 枚方講座 平成 26 年 2 月 22 日（土）、3 月 1 日（土）  
受講者延べ 429 名（於：楠葉学舎）  
（時間はいずれも午前 10 時～正午）
16. 第 6 学年父兄懇談会（於：楠葉学舎）  
平成 25 年 9 月 28 日（土）午後 1 時 父兄出席者数 60 名
17. 平成 25 年度大学祭（テーマ：Challenge）
  - ・体育祭 平成 25 年 10 月 27 日（日）（於：牧野学舎）
  - ・文化祭 平成 25 年 11 月 2 日（土）、3 日（日）（於：楠葉学舎）
18. 平成 25 年度地方父兄会（京滋地区）（於：メルパルク京都）  
平成 25 年 11 月 4 日（月）午後 1 時 父兄出席者数 38 名
19. 実験動物慰霊祭 平成 25 年 11 月 22 日（金）午後 1 時 30 分（於：牧野学舎）
20. 平成 25 年度自衛消防訓練
 

楠葉学舎	平成 25 年 11 月 29 日（金）
牧野学舎	平成 25 年 12 月 3 日（火）
天満橋学舎	平成 25 年 12 月 13 日（金）
21. 平成 25 年度学生部セミナー「広汎性発達障害の理解にむけて」  
平成 25 年 12 月 10 日（火）午後 4 時（於：楠葉学舎）61 名出席  
講師 関西福祉科学大学 櫻井 秀雄 教授
22. 平成 25 年度全学教職員忘年慰労会 平成 25 年 12 月 27 日（於：天満橋学舎）
23. 平成 26 年新年互礼会 平成 26 年 1 月 6 日（於：楠葉学舎）

24. 平成 25 年度定年退職記念講演会（於：100 周年記念館）
- ・武田 主任教授 平成 26 年 1 月 18 日（土）午前 10 時
  - ・小谷 主任教授 平成 26 年 1 月 18 日（土）午後 10 時 45 分
  - ・林 主任教授 平成 26 年 1 月 18 日（土）午前 11 時 30 分
25. 平成 25 年度解剖体遺骨返還式（於：楠葉学舎）  
平成 26 年 2 月 3 日（月）午後 2 時
26. 平成 25 年度共用試験歯学系 CBT 並びに OSCE
- ・CBT 平成 26 年 2 月 28 日（金）午前 9 時 30 分（於：楠葉学舎）
  - ・OSCE 平成 26 年 3 月 16 日（日）午前 9 時 30 分（於：天満橋学舎）
27. 平成 25 年度卒業式並びに大学院学位認証式  
平成 26 年 3 月 7 日（金）午前 10 時（於：楠葉学舎）
28. メンタルヘルス・セルフケアに関する講演  
平成 26 年 3 月 14 日（金）午後 4 時（於：楠葉学舎）  
講師 中央労働災害防止協会 大阪労働衛生総合センター  
平岡 正弘 健康快適推進室長
29. 平成 25 年度歯科医師臨床研修修了証授与式  
平成 26 年 3 月 25 日（火）午後 2 時 30 分（於：天満橋学舎）
30. 歯科法医学室及び歯科審美学室の新設
31. 学習サポーター制度の導入
32. 大学院カリキュラムポリシー、ディプロマポリシーの制定（11 月 27 日）  
【カリキュラムポリシー】  
歯学研究の目的である口腔科学の進歩と社会貢献しうる有為な研究者を養成するために、次のカリキュラム編成の方針に基づき人材育成を図っている。
1. 先進的な口腔科学に関する研究を遂行できる能力を確立すること
  2. 全身との関わりの中で口腔科学研究を遂行できる医療人を育成すること
  3. 高い教養と学際的視点を涵養すること
  4. 国際社会に貢献できる研究能力を獲得すること

### 【ディプロマポリシー】

歯学研究科に必要な年限在学して所定の単位を修得し、学位論文の審査および最終試験に合格した次の者に博士（歯学）の学位を授与する。

1. 口腔科学研究を担う高度の専門知識と技術を修得して発展できること
2. 口腔科学に根ざした高度の医療技術を修得して応用できること
3. 研究者あるいは医療人として高い教養を身に付けて展開できること
4. 国際社会で医療人として貢献できること

#### 33. スチューデントアシスタントの採用

22名（2年9名、3年5名、4年5名、5年1名、6年2名）を採用

#### 34. 大学特待生の採用

2年2名・3年2名・4年1名・5年2名、授業料100万円免除  
6年2名、授業料半額免除

#### 35. 大学学内奨学生選考

3名の学生に対して総額2,700,000円の奨学金を貸与

#### 36. 平成25年度教職員子弟の大学授業料減免

3名減免 計3,000,000円

#### 37. 平成26年度臨床研修歯科医の募集定員

単独型研修方式40名、複合型研修方式120名

#### 38. 附属病院 土曜開院開始（平成25年5月11日）

診療科：矯正歯科、小児歯科

診療時間：8:45～17:00（初診受付時間は8:45～11:00、13:30～14:30）

#### 39. 学位授与

学位記番号 甲第716号～739号 24名に学位記授与

学位記番号 乙第1576号～1586号 11名に学位記授与

#### 40. 平成25年度法人理事会・法人評議員会・主任教授会・教授会・大学院研究科会議

##### 1) 法人理事会 14回開催

（平成25年4月25日、5月30日(2回)、6月27日、7月25日、  
8月29日、9月26日、10月24日、11月28日、12月27日、  
平成26年1月23日、2月27日、3月27日(2回)）

- 2) 法人評議員会 2回開催  
(平成25年5月30日、平成26年3月27日)
- 3) 主任教授会 23回開催  
(平成25年4月10日、5月8日、6月12日、7月10日、7月31日、  
8月14日、9月11日、10月9日、11月6日、11月13日、11月20日、  
11月27日、12月11日、12月25日、平成26年1月8日、1月22日、  
1月24日、1月29日、2月12日、3月5日、3月12日、3月26日、  
3月28日)
- 4) 教授会 2回開催  
(平成25年4月10日、平成26年3月28日)
- 5) 大学院研究科会議 16回開催  
(平成25年4月24日、5月22日、6月26日、7月24日、8月28日、  
9月25日、10月9日、10月23日、11月27日、12月25日、  
平成26年1月22日、2月12日、2月26日、3月12日、3月26日)

41. 本学関係 褒章・叙勲の受章者等

- 1) 褒章 大学25回 窪 盛偉 高知県 藍綬褒章
- 2) 叙勲 大学9回 千代 忠俊 香川県 瑞宝双光章 共10名
- 3) 平成25年度文部科学省医学教育等関係業務功労者表彰  
附属病院 薬剤師長 上中 清隆

42. 川添理事長・学長

(一社)日本私立歯科大学協会第6代会長就任(平成25年8月20日付)

43. 教職員数(平成26年3月1日現在:377名)

- 1) 大学 361名  
教員数 189名  
学長1名、主任教授25名、専任教授8名、准教授26名、講師62名、  
助教65名、病院教授1名、病院助教1名  
職員数 172名  
事務・技術77名、医療94名、労務1名
- 2) 歯科技工士専門学校 8名  
教員6名、事務2名
- 3) 歯科衛生士専門学校 8名  
教員6名、事務2名

#### 44. 人事

##### 1. 法人関係

###### 1) 任期満了に伴う退任 (平成 26 年 3 月 31 日付)

- ・法人役員 理事長 川添 堯彬
- 理事 下村錢三郎、田中 昭男、諏訪 文彦  
覚道 健治、三谷 卓、岡 邦恭  
橋本 猛伸、藤野 明、伊達 洋彦
- 監事 古川 壽男、前田 眞治
- ・法人評議員 大浦 清 共 37 名
- ・法人顧問 上田 雅俊

###### 2) 死亡退任

法人評議員 田治米 保夫 (平成 25 年 10 月 29 日付)

##### 2. 退職

###### 1) 定年退職

口腔治療学講座 主任教授 林 宏行 共 8 名

###### 2) 依願退職

歯科麻酔学講座 主任教授 小谷 順一郎 共 21 名

###### 3) 任期制教員任期満了退職

薬理学講座 講師 戸田 雅裕 共 7 名

###### 4) 再雇用契約満了退職

総務課牧野学舎事務室 事務職員 仲宗根 幸男 共 3 名

##### 3. 昇任

###### 1) 准教授

口腔衛生学講座 講師 川崎 弘二 共 3 名

###### 2) 退職に伴う准教授特別昇任

口腔治療学講座 講師 畠 銀一郎 共 2 名

###### 3) 講師

解剖学講座 助教 上村 守 共 5 名

###### 4) 専門学校助教員

歯科衛生士専門学校 助手 大西 愛

###### 5) 職員

法人事務局長 亀井 崇 共 11 名

##### 4. 任用

###### 1) 専任教授

障害者歯科 博士 (歯学) 中嶋 正博 共 3 名

###### 2) 准教授

耳鼻咽喉科 博士 (医学) 馬場 一泰

- 3) 講師  
薬理学講座 博士 (医学) 西浦 弘志
- 4) 助教  
歯科矯正学講座 博士 (歯学) 有馬 良幸 共4名
- 5) 職員  
病院事務部 事務部長 齊藤 広志 共6名
- 6) 任期付職員新規採用  
教務学生課 事務職員 藤井 健史 共5名
5. 任期制教員契約更新  
歯周病学講座 助教 高橋 貫之 共7名
6. リサーチ・アシスタント採用  
有歯補綴咬合学 堤 義文
7. 所属異動 大学庶務課 木下 誠一郎 共3名
8. 兼務 総務課 課長 松村 誠一 共3名
9. 定年退職後再雇用  
大学庶務課記念館事務室 事務職員 齋藤 俊司 共3名
10. 定年退職後再々雇用  
総務課牧野事務室 事務職員 仲宗根 幸男 共2名
11. 委嘱
  - 1) 客員教授  
大阪歯科大学附属病院 元病院教授 北條 博一 共8名
  - 2) Visiting Professor  
韓国慶熙大学校歯科大学 教授 Young-Guk Park 共7名
  - 3) 平成25年度講師 (非常勤) 解剖学講座 清水 孝治 共403名  
(平成25年4月1日付)
  - 4) 臨床教授 口腔インプラント科 江藤 隆徳 共2名
  - 5) 嘱託 梅垣麻酔科クリニック 院長(医師) 梅垣 裕 共21名
  - 6) 病院医員 63名
  - 7) 平成25年度ティーチングアシスタント  
歯科理工学 白井 翼 共10名
  - 8) 学生相談室カウンセラー 臨床心理士 畑 聡美 共2名
  - 9) 保健室嘱託医師 大阪大学医学部 助教 (医師) 木田 博
  - 10) 各種委員会委員長  
予算委員会委員長 下村 錢三郎
  - 11) 学年指導教授・助言教員・特別アドバイザー (平成25年4月1日現在)  
学年指導教授 1年 藤原 眞一、2年 武田 昭二、3年 西川 泰央  
4年 有田 憲司、5年 山本 一世、6年 林 宏行

学年指導教授特別補佐 4年 辻林 徹 共2名  
副指導教授 6年 梅田 誠  
教育アドバイザー 1～6年 王 宝禮 他  
助言教員 1年 李 嘉永 共8名、2年 上村 守 共8名  
3年 竹村 明道 共8名、4年 谷本 啓彰 共8名  
特別アドバイザー 5年 岩田 有弘 共12名、6年 戸田 伊紀 共22名  
12) 平成25年度学友会会長 主任教授 松本 尚之

#### 45. 学外活動

1) 教員海外研修 口腔解剖学講座 講師 中塚 美智子 共3件

2) 教員海外出張

有歯補綴咬合学講座 主任教授 田中 昌博 共101件

3) 共同研究員受入

京都大学 再生医科学研究所大学院生 中村 浩樹

受入講座：歯科理工学講座

期間：平成25年5月9日～平成26年3月31日 共2件

4) 国際交流

(1) 中国5大学との共同研究

・受入

上海交通大学口腔医学院 2名

(期間：平成25年9月11日～15日、9月11日～10月8日)

・派遣

北京大学口腔医学院 (期間：平成25年11月16日～20日)

有歯補綴咬合学講座 田中(昌)教授、田中(順)准教授、藤井助教

(2) 海外協定校との学生交流

・受入

台北医学大学 学生9名 (期間：平成25年7月21日～27日)

南方医科大学 学生8名、教員1名 (期間：平成25年7月23日～29日)

シドニー大学 学生7名 (期間：平成25年11月24日～12月4日)

・派遣

北京大学口腔医学院 学生5名 (2年2名、3年1名、4年2名)

引率教員：吉川准教授 (期間：平成25年7月18日～24日)

シドニー大学歯学部 学生6名 (3年5名、4年1名)

引率教員：牧田助教 (期間：平成25年8月17日～26日)

コロンビア大学歯学部 学生8名 (5年)

引率教員：田中准教授、藤田准教授

(期間：平成26年3月8日～18日)

- (3) コロンビア大学歯学部長大学院特別講演並びにコロンビアCEプログラム  
第3回ニューヨーク最新歯科治療 –インプラント・審美歯科・歯周外科–  
・コロンビア大学歯学部長大学院特別講演  
平成25年10月11日(金) 午後4時～午後4時45分  
参加者160名(於:100周年記念館)
- ・コロンビアCEプログラム 第3回ニューヨーク最新歯科治療  
–インプラント・審美歯科・歯周外科–  
《One Day Lecture コース》  
平成25年10月12日(土) 午前9時30分～午後4時45分  
参加者205名(於:100周年記念館)
- 《Advanced コース》  
平成25年10月13日(日)・14日(月) 午前9時～午後4時30分  
参加者40名(於:楠葉学舎)

#### 46. 補助金・助成金

- 1) 平成25年度大阪歯科大学学術研究奨励助成金交付(11件)  
助成金交付額 3,950,000円
- 2) 平成25年度科学研究費補助金交付(文部科学省)
  - ・基盤研究(C) 35件
  - ・若手研究(B) 16件
  - ・研究活動スタート支援 2件 計53件 補助金交付額 63,400,000円  
(間接経費 19,020,000円 合計 82,420,000円)
- 3) 平成25年度私立大学等経常費補助金交付額 401,108,000円
- 4) 平成25年度私立大学等研究設備整備費等補助金(私立大学等研究設備等整備費)  
「歯科診療チェアユニット及びファントム」 交付額16,627,000円
- 5) 平成25年度臨床研修費等補助金交付額 121,728,000円
- 6) 国際交流助成  
歯科東洋医学室 専任教授 方 一如 共42名に対し8,521,250円の助成
- 7) 寄贈  
大阪歯科大学第41回卒業生(世一会) 300,000円 共3件

#### 47. 諸規程

- 1) 大阪歯科大学学則(一部改正)
- 2) 大阪歯科大学卒業生子女奨学金規程(施行)
- 3) 学校法人大阪歯科大学教員の任期に関する規程(一部改正)
- 4) 学校法人大阪歯科大学教員の定員等に関する規程(一部改正)
- 5) 学校法人大阪歯科大学教員の定員等に関する規程改正に伴う任期付教員の再任用に関する申し合わせ(施行)
- 6) 教員の兼務、出張及び研修に関する内規(一部改正)

- 7) 大阪歯科大学学位規程（一部改正）
- 8) 大阪歯科大学臨床研究利益相反検討委員会規程（施行）
- 9) 大阪歯科大学教員評価実施規程（施行）
- 10) 学校法人大阪歯科大学事務組織及び事務分掌規程（一部改正）
- 11) 学校法人大阪歯科大学事務組織表（一部改正）
- 12) 学校法人大阪歯科大学就業規則（一部改正）
- 13) 学校法人大阪歯科大学任期付職員就業規則（一部改正）
- 14) 学校法人大阪歯科大学契約職員就業規則（一部改正）
- 15) 学校法人大阪歯科大学旅費規程（一部改正）
- 16) 学校法人大阪歯科大学旅費規程内規（一部改正）
- 17) 大阪歯科大学歯科衛生士専門学校学則（一部改正）
- 18) 院内感染防止委員会規程（一部改正）  
(以上 平成 25 年 4 月 1 日付)
- 19) 大阪歯科大学附属病院感染対策室運用規程（施行）  
(平成 25 年 4 月 10 日付)
- 20) 昇格・降格に関する取扱細則（一部改正）  
(平成 25 年 5 月 30 日付)
- 21) 大阪歯科大学共同研究員受入規程（施行）
- 22) 共同研究員受入に係る研究料に関する申し合わせ（施行）
- 23) 学校法人大阪歯科大学専門学校教員任用規程（一部改正）
- 24) 大阪歯科大学附属病院医療安全管理委員会規程（一部改正）
- 25) 大阪歯科大学附属病院医療安全管理室運用規程（一部改正）  
(以上 平成 25 年 6 月 27 日付)
- 26) 大学院学則第 16 条「優れた研究業績を上げた者」に関する申し合わせ（施行）
- 27) 学校法人大阪歯科大学就業規則（一部改正）
- 28) 学校法人大阪歯科大学給与規程（一部改正）  
(以上 平成 25 年 7 月 25 日付)
- 29) 教職員定年規程（一部改正）
- 30) 職員の定年の延長に関する申し合わせ（施行）
- 31) 卒業生（歯科医師免許取得者）の聴講（テーマ別）について  
(申し合わせ)（施行）
- 32) 再入学希望者の本学利用について（申し合わせ）（施行）  
(以上 平成 25 年 8 月 29 日付)
- 33) 学校法人大阪歯科大学教員の定員等に関する規程（一部改正）
- 34) 大阪歯科大学学位規程（一部改正）
- 35) 大阪歯科大学における科学研究費助成事業（科学研究費補助金・学術研究助成基金助成金）取扱規則（一部改正）

- 36) 大阪歯科大学における科学研究費助成事業（科学研究費補助金・学術研究助成基金助成金）直接経費の使用取決（一部改正）  
(以上 平成 25 年 9 月 26 日付)
- 37) 学習サポーター制度に関する規則（施行）  
(平成 25 年 10 月 24 日付)
- 38) 医療安全管理委員会専門小委員会内規（施行）  
(平成 25 年 11 月 28 日付)
- 39) 学校法人大阪歯科大学資産運用細則（一部改正）
- 40) 大阪歯科大学附属病院医療ガス安全管理委員会規程（一部改正）
- 41) 輸血委員会規程（一部改正）  
(以上 平成 25 年 12 月 27 日付)
- 42) 学校法人大阪歯科大学事務組織及び事務分掌規程（一部改正）
- 43) 学校法人大阪歯科大学管理運営規則（施行）
- 44) 学校法人大阪歯科大学職制規程（廃止）
- 45) 大阪歯科大学臨床教授規程（施行）
- 46) 学校法人大阪歯科大学教員評価委員会規程（施行）
- 47) 大阪歯科大学附属病院規程（一部改正）
- 48) 大阪歯科大学附属病院運営委員会規程（一部改正）
- 49) 大阪歯科大学教授会・主任教授会規程（一部改正）
- 50) 大阪歯科大学大学院委員会規程（一部改正）
- 51) 大阪歯科大学教務部委員会規程（一部改正）
- 52) 大阪歯科大学学生部委員会規程（一部改正）
- 53) 大阪歯科大学医の倫理委員会規程（一部改正）
- 54) 大阪歯科大学教育情報センター規程（一部改正）
- 55) 大阪歯科大学カリキュラム委員会規程（一部改正）
- 56) 入学試験委員会規程（一部改正）
- 57) 大学院入学試験委員会規程（一部改正）
- 58) 大阪歯科大学総務部委員会規程（一部改正）
- 59) 学内食堂管理運営委員会規程（一部改正）
- 60) 廃棄物処理委員会規程（一部改正）
- 61) 健康管理委員会規程（一部改正）
- 62) 大阪歯科大学公開講座委員会規程（一部改正）
- 63) 大阪歯科大学国際交流部委員会規程（一部改正）
- 64) 大阪歯科大学共用歯学 CBT 委員会規程（一部改正）
- 65) 大阪歯科大学共用歯学 OSCE 実行委員会規程（一部改正）
- 66) ブラッシュアップ委員会規程（一部改正）
- 67) 大阪歯科大学バイオセーフティー委員会規程（一部改正）

- 68) 大阪歯科大学ファカルティ・ディベロップメント (FD) 委員会規程 (施行)
- 69) 大阪歯科大学教授候補者選考委員会規程 (施行)
- 70) 大阪歯科大学教員選考規程 (一部改正)
- 71) 図書館運営委員会に関する細則 (一部改正)
- 72) 図書資料選択委員会に関する細則 (一部改正)
- 73) 大阪歯科大学動物実験委員会規程 (一部改正)

(以上 平成 26 年 1 月 23 日付)

- 74) 大阪歯科大学附属病院臨床研修歯科医就業規則 (一部改正)
- 75) 大阪歯科大学国際交流部委員会規程 (一部改正)
- 76) 大阪歯科大学国際学術交流助成に関する細則

(以上 平成 26 年 3 月 27 日付)